

小谷地点水力発電所事業性評価調査事業

1. 事業の目的

水力発電の開発計画には、各種調査が必要であり、事業実施に向けては、順次計画精度を向上させていく必要がある。
 当地点においては、事業計画の根幹である流量データが不足していることから、本事業により計画精度向上のために、流量調査を実施し、その結果を踏まえて概略設計の内容と比較し確認することを目的とする。

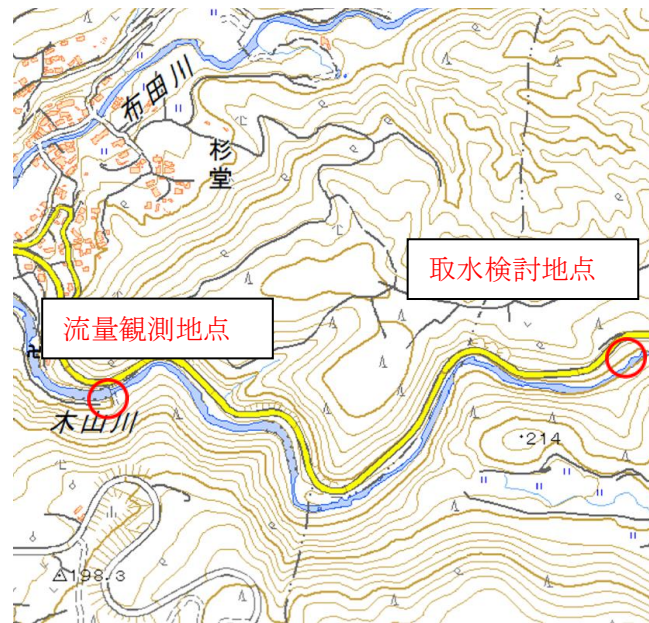
2. 事業の内容

- (1) 事業者名
JFEエンジニアリング株式会社
- (2) 事業名
小谷地点水力発電所事業性評価調査事業
- (3) 事業期間
第1期:平成30年8月8日 ~ 平成31年2月20日
第2期:平成31年2月22日 ~ 令和元年5月31日
第3期:平成31年4月23日 ~ 令和2年2月20日(当該年度)
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
 - a.発電形式 : 水路式
 - b.使用水量 : 1.50m³/s
 - c.有効落差 : 77.2m
 - d.出力 : 910kW

3. 事業実施概要

流量観測のための、観測地点の断面測量と水位計の設置及び流速測定を行う。また、取得した実測データを基に、事業性評価を実施する。

流量観測地点の住所:熊本県上益城郡



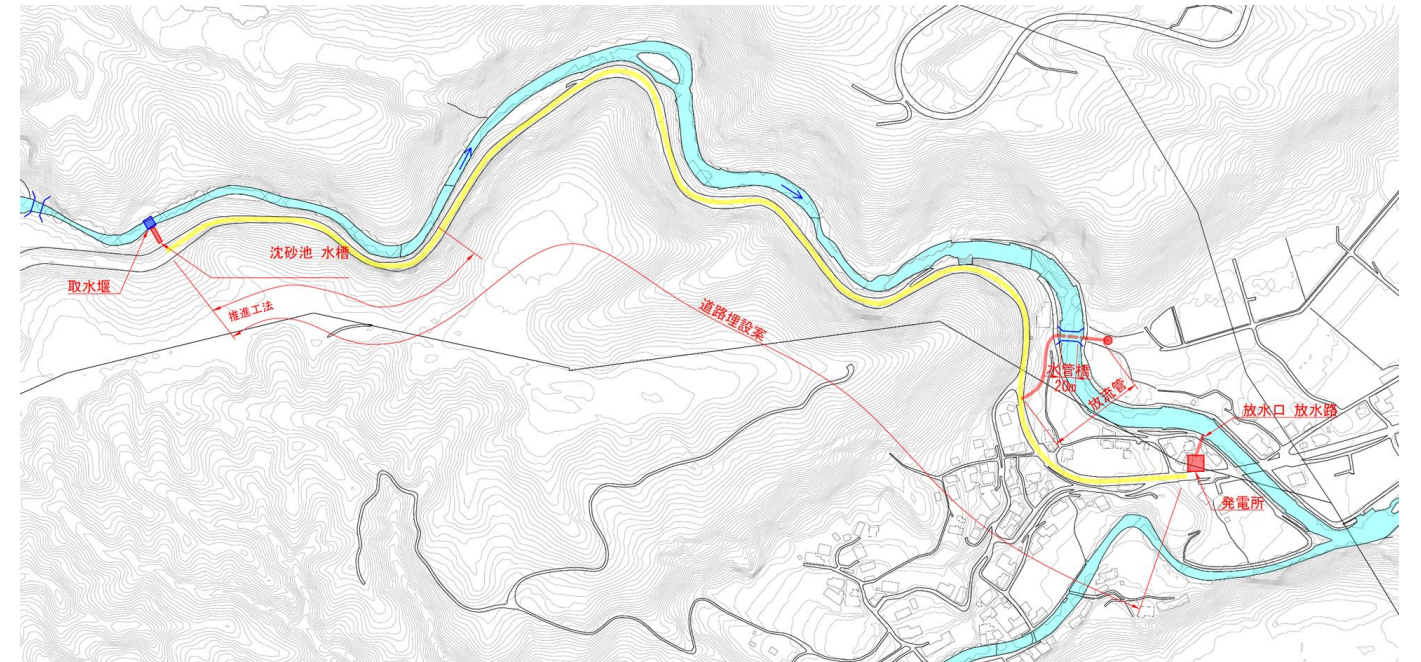
流量観測地点

地点名: 小谷地点		観測時写真	
令和1年8月21日	水位H= 0.091 m	流量Q= 1.167 m ³ /s	
上流を望む	下流を望む		
右岸側より測線を望む	砂防堰堤を望む		
作業状況	アンカーマーク水位		

流量観測の状況

4. 事業の成果等

- ①水位計設置及び流量調査
 第3期として、令和元年6月から令和2年1月まで流量測定を実施した。第1期、第2期と合わせ、年間流量データを得ることができ、より詳細な流況を把握することができた。
- ②事業性評価
 取得した年間流量データを基に発電電力量を試算し、概算工事費等の運転費用を算出し、水力発電事業の事業性評価を実施した。経済性評価の点で厳しい面もあるが、現地での事業体制等を引き続き検討する。



5. 事業スケジュール

	2018(H30)年度						2019年度										
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
現地踏査	-																
水位計設置				-													
流量測定				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
データ分析				-													
概略設計内容との照合				-													
事業性評価																-	-

- 2018年度(H30年度)補助事業にて実施(第1期)
- - - 事業者にて実施(第2期)
- 2019年度補助事業にて実施(第3期)
- - - 事業者にて実施